

注3

大学番号：私208

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

京都光華女子大学 こども教育学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 光華女子学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務企画部

職名・氏名 マネージャー 藤原 加織

電話番号 075-325-5312

（夜間） 075-325-5312

F A X 075-322-0336

e-mail js@mail.koka.ac.jp

目次

こども教育学部

こども教育学科	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 光華女子学園

(2) 大学名

京都光華女子大学

(3) 大学の位置

〒615-0882

京都府京都市右京区西京極葛野町38番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アベ トシユキ) 阿部 敏行 (平成13年4月1日)		
学長	(イチゴウ マサミチ) 一郷 正道 (平成19年4月1日)		
学部長		(ワカイ ヤイチ) 若井 彌一 (平成27年4月1日)	平成26年5月認可申請時未決定のため(27)
学科長等		(カワハラ サトコ) 河原 聡子 (平成29年4月1日) (キタオカ ヒロアキ) 北岡 宏章 (平成27年4月1日)	こども教育学科長任期満了に伴う交代(29) 平成26年5月認可申請時未決定のため(27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
こども教育学部 こども教育学科 学士(こども教育学)	教育学・保育学 関係	年 4	人 80	年次 人	人 320	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人 —	0.98倍							
志願者数	100 (-) [-]	— (-) [-]	201 (-) [0]	— (-) [-]	230 (-) [0]	— (-) [-]	212 (-) [0]	— (-) [-]		
受験者数	96 (-) [-]	— (-) [-]	192 (-) [0]	— (-) [-]	219 (-) [0]	— (-) [-]	205 (-) [0]	— (-) [-]		
合格者数	90 (-) [-]	— (-) [-]	165 (-) [0]	— (-) [-]	203 (-) [0]	— (-) [-]	193 (-) [0]	— (-) [-]		
B 入学者数	60 (-) [-]	— (-) [-]	86 (-) [0]	— (-) [-]	89 (-) [0]	— (-) [-]	79 (-) [0]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.75		1.07		1.11		0.98			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[60] (-)	[-] (-)	[86] (-)	[-] (-)	[89] (-)	[-] (-)	[79] (-)	[-] (-)	
2年次	/		[60] (-)	[-] (-)	[82] (-)	[-] (-)	[86] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[60] (-)	[-] (-)	[81] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[60] (-)	[-] (-)	
計	[60] (-)		[146] (-)		[231] (-)		[306] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	60 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	146 人	4 人	平成27年度	0 人	0 人	進路変更(他大学)1人、就職2人、その他1人
			平成28年度	4 人	0 人	
平成29年度	231 人	4 人	平成27年度	0 人	0 人	就職1人 進路変更(他大学)2人、就職1人
			平成28年度	1 人	0 人	
			平成29年度	3 人	0 人	
平成30年度	306 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	743 人	8 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数 (a)}}{\text{平成27年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{60} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数 (a)}}{\text{平成28年度の在学者数 (b)}} = \frac{4}{146} = \boxed{2.73} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数 (a)}}{\text{平成29年度の在学者数 (b)}} = \frac{4}{231} = \boxed{1.73} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数 (a)}}{\text{平成30年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{306} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<こども教育学部 こども教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎・ 教養科目	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2								1
	仏教学概説	2-3-4前		2							1
	シチズンシップ	1-2-3-4後	2								3
	日本文化の理解	1-2-3-4後	2								1
	コラボレーションワーク入門	1前		1							2
	英語S1	1前	2			1					2
	英語S2	1後	2			1					2
	英語S3	2-3-4前		2							2
	英語S4	2-3-4後		2							2
	ICT演習Ⅰ	1前	1								2
	ICT演習Ⅱ	1後	1								2
	日本語コミュニケーションⅠ	1前	1								2
	日本語コミュニケーションⅡ	1後	1								2
	健康の科学	1-2-3-4前		2							1
	スポーツ実技Ⅰ	1前		1		1	1				
	スポーツ実技Ⅱ	1後		1		1	1				
	キャリアデザイン講座Ⅰ	1-2-3-4後		1							1
	キャリアデザイン講座Ⅱ	2-3-4前		1							1
	キャリアデザイン講座Ⅲ	2-3-4後		1							1
	インターンシップ	2-3-4前		2							1
	文学	1-2-3-4後		2							1
	歴史	1-2-3-4前		2							1
	京都学	1-2-3-4前		2							1
	ことばと文化	1-2-3-4後		2							1
	サブカルチャー論	1-2-3-4前		2							1
	映画と演劇	1-2-3-4前		2							1
	現代社会と法	1-2-3-4前		2							1
	日本国憲法	2-3-4後	2								1
	経済学	1-2-3-4後		2							1
	社会学	1-2-3-4後		2							1
	心理学	1-2-3-4前		2							1
	哲学と人生	1-2-3-4後		2							2
	地域環境学	1-2-3-4後		2							1
環境学	1-2-3-4前		2							1	
食品と栄養	1-2-3-4後		2							1	
社会と科学	1-2-3-4後		2							1	
生命の科学	1-2-3-4後		2							1	
中国語	1-2-3-4前		1							1	
ハンゲル	1-2-3-4前		1							1	
国際理解	1-2-3-4前		2							1	
欧米諸事情	1-2-3-4後		2							1	
アジア諸事情	1-2-3-4後		2							1	
生活と物理・化学	1-2-3-4前		2							1	
日本語FⅠ	1前		1							1	
日本語FⅡ	1後		1							1	
日本語SⅠ	2前		1							1	
日本語SⅡ	2後		1							1	
日本事情Ⅰ	1前		1							1	
日本事情Ⅱ	1後		1							1	
専門 基礎	こども教育概論	1前	2			1	1	2			1
	基礎ゼミⅠ	1前	1			4	6	4			
	基礎ゼミⅡ	1後	1			4	6	4			
	こども教育基礎演習A	2前	1			2	2	1			
	こども教育基礎演習B	2後		1		1	3	1			
	教職論	1前		2		1					
	保育者論	1前		2			1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎・ 教養科目	仏教の人間観Ⅰ	1前	2									1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2									1
	仏教学概説	2-3-4後		2								1
	シチズンシップ	1-2-3-4後	2									3
	日本文化の理解	2-3-4後		2								3
	京都光華の学び	1前	2				1	1	1			5
	英語S1	1前	2									2
	英語S2	1後	2									2
	英語S3	2-3-4前		2			1					1
	英語S4	2-3-4後		2			1					1
	ICT演習Ⅰ	1前	1									2
	ICT演習Ⅱ	1後	1									2
	日本語コミュニケーションⅠ	2前	1							1		4
	日本語コミュニケーションⅡ	2後	1							1		4
	健康の科学	1-2-3-4前		2								1
	スポーツ実技Ⅰ	1前		1			1	1				1
	スポーツ実技Ⅱ	1後		1			1	1				1
	キャリアデザイン講座Ⅰ	1-2-3-4後		1								1
	キャリアデザイン講座Ⅱ	2-3-4前		1								1
	キャリアデザイン講座Ⅲ	2-3-4後		1								1
	インターンシップ	2-3-4前		2								1
	文学	1-2-3-4後		2								3
	歴史	1-2-3-4前		2								1
	京都学	1-2-3-4前		2								4
	ことばと文化	1-2-3-4後		2								1
	サブカルチャー論	1-2-3-4前		2								1
	映画と演劇	1-2-3-4前		2								1
	現代社会と法	1-2-3-4前		2								1
	日本国憲法	2-3-4前	2									1
	経済学	1-2-3-4後		2								1
	社会学	1-2-3-4後		2								1
	心理学	1-2-3-4前		2								1
	哲学と人生	1-2-3-4後		2								2
	地域環境学	1-2-3-4後		2								1
環境学	1-2-3-4前		2								1	
食品と栄養	1-2-3-4後		2								1	
社会と科学	1-2-3-4後		2								1	
生命の科学	1-2-3-4後		2								1	
中国語	1-2-3-4前		1								3	
ハンゲル	1-2-3-4前		1								2	
国際理解	1-2-3-4前		2								1	
欧米諸事情	1-2-3-4後		2								1	
アジア諸事情	1-2-3-4後		2								1	
生活と物理・化学	1-2-3-4前		2								1	
日本語FⅠ	1前		1								1	
日本語FⅡ	1後		1								1	
日本語SⅠ	2前		1								1	
日本語SⅡ	2後		1								1	
日本事情Ⅰ	1前		1								1	
日本事情Ⅱ	1後		1								1	
専門 基礎	こども教育概論	1前	2			1	1	2				
	基礎ゼミⅠ	1前	1			4	6	4				
	基礎ゼミⅡ	1後	1			4	6	4				
	こども教育基礎演習A	2前	1			2	2	1				
	こども教育基礎演習B	2後		1		1	3	1				
	教職論	1前		2		1						
	保育者論	1前		2			1					

科目目	教育原理	1後	2	1						兼任・兼任		
		配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門基幹科目	教育心理学	2前	2			1						
	発達心理学	1前	2				1					
	人権教育	3後	2		1							
	仏教教育論	4前	2		1					1		
	教育の制度・運営	3前	2		1							
	保育内容総論	1前	2		1							
	保育方法論	3前	2		1							
	保育課程論	1後	2		1							
	国語(書写を含む)	1後	2			1				1		
	社会	1前	2			1					1	
算数	1前	2			1					1		
理科	1後	2		1								
生活	2前	2		1	1							
音楽Ⅰ	1前	1				1				1		
音楽Ⅱ	1後	1				1				5		
音楽Ⅲ	2前	1				1				5		
音楽Ⅳ	2後	1				1				5		
図画工作Ⅰ	2前	1			1							
家庭	2前	2								1		
体育Ⅰ	2前	1		1	1							
専門発展科目(幼児教育保育関連科目)	保育相談支援	2後	2			1						
	保育内容研究	4前	2		1	1						
	児童心理学	1後	2			1						
	体育Ⅱ(幼児)	2後	1		1							
	保育内容Ⅰ(健康)	1後	2		1							
	保育内容Ⅱ(人間関係)	1後	2		1							
	保育内容Ⅲ(言葉)	2前	2							1		
	保育内容Ⅳ(環境)	2前	2		1							
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅰ)	2後	1		1	1						
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅱ)	2後	1		1	1						
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅲ)	4後	1		2	2						
	音楽Ⅴ	3前	1				1				5	
	音楽Ⅵ	4前	1				1				4	
	音楽Ⅶ	4後	1				1				4	
	レクリエーション指導法	4前	1		1							
	保育原理	1前	2			1						
	児童家庭福祉	1後	2				1					
	社会福祉	1前	2								1	
	相談援助	2前	1				1					
	社会的養護	2後	2								1	
	子どもの保健ⅠA	2前	2								1	
	子どもの保健ⅠB	2後	2								1	
	子どもの保健Ⅱ	3前	1								1	
	子どもの食と栄養	2後	2								1	
	家庭支援論	3前	2								1	
	乳児保育	1後	2			1						
障害児保育	2前	2			1							
社会的養護内容	3前	1								1		
道徳	3後	2		1								
第二言語習得論	3前	1		1								
英語の発音	3後	1		1								
幼児英語指導演習	4前	1		1								
道徳教育の理論と指導法(初等)	3前	2		1								
特別活動指導論(初等)	2後	2		1								
生徒指導論(初等)	3前	2			1							
教育方法論(初等)	2後	2			1							
教育課程論(初等)	2後	2		1								

科目目	教育原理	1後	2	1						兼任・兼任		
		配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門基幹科目	教育心理学	2前	2			1						
	発達心理学	1前	2				1				1	
	人権教育	3後	2		1							
	仏教教育論	4前	2		1							
	教育の制度・運営	3前	2		1							
	保育内容総論	1前	2				1					
	保育方法論	3前	2				1					
	保育課程論	1後	2				1					
	国語(書写を含む)	1後	2					1				
	社会	1前	2			1						
算数	1前	2			1					1		
理科	1後	2		1								
生活	2前	2		1	1							
音楽Ⅰ	1前	1					1			1		
音楽Ⅱ	1後	1					1			11		
音楽Ⅲ	2前	1					1			12		
音楽Ⅳ	2後	1					1			14		
図画工作Ⅰ	2前	1			1							
家庭	2前	2								1		
体育Ⅰ	2前	1		1	1							
専門発展科目(幼児教育保育関連科目)	保育相談支援	2後	2					1				
	保育内容研究	4前	2					2				
	児童心理学	1後	2						1			
	体育Ⅱ(幼児)	2後	1		1							
	保育内容Ⅰ(健康)	1後	2		1							
	保育内容Ⅱ(人間関係)	1後	2		1				1			
	保育内容Ⅲ(言葉)	2前	2						1			
	保育内容Ⅳ(環境)	2前	2		1				1			
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅰ)	2後	1		1	1						
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅱ)	2後	1		1	1			1			
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅲ)	4後	1			1			1	2		
	音楽Ⅴ	3前	1							1	9	
	音楽Ⅵ	4前	1							1	7	
	音楽Ⅶ	4後	1							1	9	
	レクリエーション指導法	4前	1		1				1			
	保育原理	1前	2			1						
	児童家庭福祉	1後	2							1		
	社会福祉	1前	2								1	
	相談援助	2前	1							1		
	社会的養護	2後	2								1	
	子どもの保健ⅠA	2前	2								1	
	子どもの保健ⅠB	2後	2								1	
	子どもの保健Ⅱ	3前	1								1	
	子どもの食と栄養	2後	2								1	
	家庭支援論	3前	2								1	
	乳児保育	1後	2			1						
障害児保育	2前	2			1							
社会的養護内容	3前	1								1		
道徳	3後	2		1								
第二言語習得論	3前	1		1								
英語の発音	3後	1		1								
幼児英語指導演習	4前	1		1								
道徳教育の理論と指導法(初等)	3前	2			1							
特別活動指導論(初等)	2後	2			1							
生徒指導論(初等)	3前	2						2				
教育方法論(初等)	2後	2						1				
教育課程論(初等)	2後	2						1				

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2								1
	仏教学概説	2-3-4前		2							1
	シチズンシップ	1-2-3-4後	2								3
	日本文化の理解	2-3-4後	2								1
	コラボレーションワーク入門	1前		1							11
	英語S1	1前	2			1					2
	英語S2	1後	2			1					2
	英語S3	2-3-4前		2							2
	英語S4	2-3-4後		2							2
	ICT演習Ⅰ	1前	1								2
	ICT演習Ⅱ	1後	1								2
	日本語コミュニケーションⅠ	1前	1								3
	日本語コミュニケーションⅡ	1後	1								3
	健康の科学	1-2-3-4後		2							1
	スポーツ実技Ⅰ	1前	1			1	1				1
	スポーツ実技Ⅱ	1後	1			1	1				1
	キャリアデザイン講座Ⅰ	1-2-3-4後	1								1
	キャリアデザイン講座Ⅱ	2-3-4前	1								1
	キャリアデザイン講座Ⅲ	2-3-4後	1								1
	インターンシップ	2-3-4前		2							1
	文学	1-2-3-4後		2							1
	歴史	1-2-3-4前		2							1
	京都学	1-2-3-4前		2							1
	ことばと文化	1-2-3-4後		2							1
	サブカルチャー論	1-2-3-4前		2							1
	映画と演劇	1-2-3-4前		2							1
	現代社会と法	1-2-3-4後		2							1
	日本国憲法	2-3-4前	2								1
	経済学	1-2-3-4後		2							1
	社会学	1-2-3-4後		2							1
	心理学	1-2-3-4前		2						1	
	哲学と人生	1-2-3-4後		2							1
	地域環境学	1-2-3-4後		2							1
	環境学	1-2-3-4前		2							1
	食品と栄養	1-2-3-4後		2							1
	社会と科学	1-2-3-4後		2							1
	生命の科学	1-2-3-4後		2							1
	中国語	1-2-3-4後		1							2
	ハングル	1-2-3-4前		1							1
	国際理解	1-2-3-4後		2							1
	欧米諸事情	1-2-3-4前		2							1
	アジア諸事情	1-2-3-4後		2							1
	生活と物理・化学	1-2-3-4前		2							1
	日本語FⅠ	1前		1							1
	日本語FⅡ	1後		1							1
	日本語SⅠ	2前		1							1
	日本語SⅡ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		1							1
	日本事情Ⅱ	1後		1							1
専門基礎科目	こども教育概論	1前	2			1	1	2			1
	基礎ゼミⅠ	1前	1			4	6	4			
	基礎ゼミⅡ	1後	1			4	6	4			
	こども教育基礎演習A	2前	1			2	2	1			
	こども教育基礎演習B	2後		1		1	3	1			
	教職論	1前		2		1					
	保育者論	1前		2			1				
	教育原理	1後		2		1					
	教育心理学	2前		2			1				
	発達心理学	1前		2				1			1
人権教育	3後		2		1						
仏教教育論	4前		2		1					1	
教育の制度・運営	3前		2		1						

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	仏教の人間観Ⅰ	1前	2								1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2								1
	仏教学概説	2-3-4前		2							1
	シチズンシップ	1-2-3-4後	2								3
	日本文化の理解	2-3-4後	2								1
	京都光華の学び	1前	1				1	1	1		17
	英語S1	1前	2			1					4
	英語S2	1後	2			1					4
	英語S3	2-3-4前		2							2
	英語S4	2-3-4後		2							2
	ICT演習Ⅰ	1前	1								2
	ICT演習Ⅱ	1後	1								2
	日本語コミュニケーションⅠ	2前	1								3
	日本語コミュニケーションⅡ	2後	1								3
	健康の科学	1-2-3-4後		2							1
	スポーツ実技Ⅰ	1前	1			1	1				1
	スポーツ実技Ⅱ	1後	1			1	1				1
	キャリアデザイン講座Ⅰ	1-2-3-4後	1								1
	キャリアデザイン講座Ⅱ	2-3-4前	1								1
	キャリアデザイン講座Ⅲ	2-3-4後	1								1
	インターンシップ	2-3-4前		2							1
	文学	1-2-3-4後		2							1
	歴史	1-2-3-4前		2							1
	京都学	1-2-3-4前		2							1
	ことばと文化	1-2-3-4後		2							1
	サブカルチャー論	1-2-3-4前		2							1
	映画と演劇	1-2-3-4前		2							1
	現代社会と法	1-2-3-4後		2							1
	日本国憲法	2-3-4前	2								1
	経済学	1-2-3-4後		2							1
	社会学	1-2-3-4後		2							1
	心理学	1-2-3-4前		2				1			
	哲学と人生	1-2-3-4後		2							1
	地域環境学	1-2-3-4後		2							1
	環境学	1-2-3-4前		2							1
	食品と栄養	1-2-3-4後		2							1
	社会と科学	1-2-3-4後		2							1
	生命の科学	1-2-3-4後		2							1
	中国語	1-2-3-4後		1							2
	ハングル	1-2-3-4前		1							1
	国際理解	1-2-3-4後		2							1
	欧米諸事情	1-2-3-4前		2							1
	アジア諸事情	1-2-3-4後		2							1
	生活と物理・化学	1-2-3-4前		2							1
	日本語FⅠ	1前		1							1
	日本語FⅡ	1後		1							1
	日本語SⅠ	2前		1							1
	日本語SⅡ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		1							1
	日本事情Ⅱ	1後		1							1
専門基礎科目	こども教育概論	1前	2			1	1	2			
	基礎ゼミⅠ	1前	1			4	6	4			
	基礎ゼミⅡ	1後	1			4	6	4			
	こども教育基礎演習A	2前	1			2	2	1			
	こども教育基礎演習B	2後		1		1	3	1			
	教職論	1前		2		1					
	保育者論	1前		2			1				
	教育原理	1後		2		1					
	教育心理学	2前		2			1				
	発達心理学	1前		2				1			1
人権教育	3後		2		1						
仏教教育論	4前		2		1					1	
教育の制度・運営	3前		2		1						

	保育内容総論	1前	2			1					兼任・兼任	
			配当年次	単位数			専任教員等の配置					
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基幹科目	保育方法論	3前	2			1						
	保育課程論	1後	2			1						
	国語(書写を含む)	1後	2					1				
	社会	1前	2			1						
	算数	1前	2								1	
	理科	1後	2			1						
	生活	2前	2			1	1					
	音楽Ⅰ	1前	1						1			1
	音楽Ⅱ	1後	1						1			10
	音楽Ⅲ	2前	1						1			5
	音楽Ⅳ	2後	1						1			5
	図画工作Ⅰ	2前	1				1					
家庭	2前		2								1	
体育Ⅰ	2前	1			1	1						
専門発展科目(幼児教育保育関連科目)	保育相談支援	2後	2					1				
	保育内容研究	4前	2			1	1					
	児童心理学	1後	2					1				
	体育Ⅱ(幼児)	2後	1			1						
	保育内容Ⅰ(健康)	1後	2			1						
	保育内容Ⅱ(人間関係)	1後	2			1						
	保育内容Ⅲ(言葉)	2前	2								1	
	保育内容Ⅳ(環境)	2前	2			1						
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅰ)	2後	1			1	1					
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅱ)	2後	1			1		1				
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅲ)	4後	1			2	2					
	音楽Ⅴ	3前	1					1				5
	音楽Ⅵ	4前	1					1				4
	音楽Ⅶ	4後	1					1				4
	レクリエーション指導法	4前	1			1						
	保育原理	1前	2				1					
	児童家庭福祉	1後	2					1				
	社会福祉	1前	2									1
	相談援助	2前	1						1			
	社会的養護	2後	2									1
	子どもの保健ⅠA	2前	2									1
	子どもの保健ⅠB	2後	2									1
	子どもの保健Ⅱ	3前	1									1
	子どもの食と栄養	2後	2									1
	家庭支援論	3前	2									1
	乳児保育	1後	2				1					
	障害児保育	2前	2				1					
社会的養護内容	3前	1									1	
道徳	3後	2			1							
第二言語習得論	3前	1			1							
英語の発音	3後	1			1							
幼児英語指導演習	4前	1			1							
専門発展科目	道徳教育の理論と指導法(初等)	3前	2			1						
	特別活動指導論(初等)	2後	2			1						
	生徒指導論(初等)	3前	2				1					
	教育方法論(初等)	2後	2				1					
	教育課程論(初等)	2後	2			1						
	教育相談(初等)	2後	2						1			
	国語科指導法	2前	2							1		
	社会科指導法	2前	2				1					
	算数科指導法	2前	2				1					
	理科指導法	2後	2			1						
	生活科指導法	2後	2			1	1					

	保育内容総論	1前	2			1					兼任・兼任	
			配当年次	単位数			専任教員等の配置					
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基幹科目	保育方法論	3前	2					1				
	保育課程論	1後	2					1				
	国語(書写を含む)	1後	2							1		
	社会	1前	2							1		
	算数	1前	2							1		
	理科	1後	2					1				
	生活	2前	2					1	1			
	音楽Ⅰ	1前	1							1		1
	音楽Ⅱ	1後	1							1		10
	音楽Ⅲ	2前	1							1		8
	音楽Ⅳ	2後	1							1		9
	図画工作Ⅰ	2前	1						1			
家庭	2前		2								1	
体育Ⅰ	2前	1					1	1				
専門発展科目(幼児教育保育関連科目)	保育相談支援	2後	2							1		
	保育内容研究	4前	2			1	1					
	児童心理学	1後	2							1		
	体育Ⅱ(幼児)	2後	1			1						
	保育内容Ⅰ(健康)	1後	2			1						
	保育内容Ⅱ(人間関係)	1後	2			1						
	保育内容Ⅲ(言葉)	2前	2							1		1
	保育内容Ⅳ(環境)	2前	2			1						
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅰ)	2後	1			1	1					
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅱ)	2後	1			1				1		
	保育内容Ⅴ(総合表現Ⅲ)	4後	1			2	2					
	音楽Ⅴ	3前	1							1		5
	音楽Ⅵ	4前	1							1		4
	音楽Ⅶ	4後	1							1		4
	レクリエーション指導法	4前	1			1						
	保育原理	1前	2						1			
	児童家庭福祉	1後	2							1		
	社会福祉	1前	2									1
	相談援助	2前	1							1		
	社会的養護	2後	2									1
	子どもの保健ⅠA	2前	2									1
	子どもの保健ⅠB	2後	2									1
	子どもの保健Ⅱ	3前	1									1
	子どもの食と栄養	2後	2									1
	家庭支援論	3前	2									1
	乳児保育	1後	2							1		
	障害児保育	2前	2							1		
社会的養護内容	3前	1									1	
道徳	3後	2			1							
第二言語習得論	3前	1			1							
英語の発音	3後	1			1							
幼児英語指導演習	4前	1			1							
専門発展科目	道徳教育の理論と指導法(初等)	3前	2							1		
	特別活動指導論(初等)	2後	2							1		
	生徒指導論(初等)	3前	2							1		
	教育方法論(初等)	2後	2							1		
	教育課程論(初等)	2後	2							1		
	教育相談(初等)	2後	2								1	
	国語科指導法	2前	2								1	
	社会科指導法	2前	2								1	
	算数科指導法	2前	2								1	
	理科指導法	2後	2							1		
	生活科指導法	2後	2							1	1	

(初等教育関連科目)	音楽科指導法	3前	2			1				
	図工科指導法	3前	2		1					
	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				
必修			選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(初等教育関連科目)	家庭科指導法	3前	2							1
	体育科指導法	3前	2			1				
	算数演習	3前	1			1				
	理科演習(実験)	3後	1		1					
	図画工作Ⅱ	3前	1			1				
	体育Ⅱ(児童)	2後	1			1				
	英語教材研究	3後	1			1				
	小学校英語指導演習	4前	1			1				
	総合的な学習の指導法	4前	2				1			
	実習・演習	プレゼミⅠ	2前	1		4	6	4		
プレゼミⅡ		2後	1		4	6	4			
専門ゼミⅠ		3前	1		6	6	4			
専門ゼミⅡ		3後	1		6	6	4			
卒論・卒研ゼミⅠ		4前	1		6	6	4			
卒論・卒研ゼミⅡ		4後	1		6	6	4			
卒業論文		4通	4		4	3	2			
卒業研究		4通	2		2	3	2			
教育実習事前・事後指導(幼稚園)		3前	1		2		1			1
教育実習事前・事後指導(小学校)		3前	1		2	3	1			
幼稚園教育実習Ⅰ(観察実習)		2前	1		2		1			1
幼稚園教育実習Ⅱ(実践実習)		3前	3		2		1			1
小学校教育実習Ⅰ		3前	2		2	3	1			
小学校教育実習Ⅱ		3前	2		2	3	1			
教職実践演習(幼・小)		4後	2		3	3	1			1
保育実習指導Ⅰ		2後	2			2	1			
保育実習指導Ⅱ		3後	1			2				
保育実習指導Ⅲ		3後	1				1			
保育実習Ⅰ(保育所)		2後	2			2				
保育実習Ⅰ(施設)		2後	2				1			
保育実習Ⅱ		3後	2			2				
保育実習Ⅲ		3後	2				1			
保育実践演習		4後	2		1	3	1			

(初等教育関連科目)	音楽科指導法	3前	2			1				
	図工科指導法	3前	2		1					
	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				
必修			選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(初等教育関連科目)	家庭科指導法	3前	2							1
	体育科指導法	3前	2			1				
	算数演習	3前	1			1				
	理科演習(実験)	3後	1			1				
	図画工作Ⅱ	3前	1			1				
	体育Ⅱ(児童)	2後	1			1				
	英語教材研究	3後	1			1				
	小学校英語指導演習	4前	1			1				
	総合的な学習の指導法	4前	2				1			
	実習・演習	プレゼミⅠ	2前	1		4	6	4		
プレゼミⅡ		2後	1		4	6	4			
専門ゼミⅠ		3前	1		6	6	4			
専門ゼミⅡ		3後	1		6	6	4			
卒論・卒研ゼミⅠ		4前	1		6	6	4			
卒論・卒研ゼミⅡ		4後	1		6	6	4			
卒業論文		4通	4		4	3	2			
卒業研究		4通	2		2	3	2			
教育実習事前・事後指導(幼稚園)		3前	1		2		1			1
教育実習事前・事後指導(小学校)		3前	1		2	3	1			
幼稚園教育実習Ⅰ(観察実習)		2前	1		2		1			1
幼稚園教育実習Ⅱ(実践実習)		3前	3		2		1			1
小学校教育実習Ⅰ		3前	2		2	3	1			
小学校教育実習Ⅱ		3前	2		2	3	1			
教職実践演習(幼・小)		4後	2		3	3	1			1
保育実習指導Ⅰ		2後	2			2	1			
保育実習指導Ⅱ		3後	1			2				
保育実習指導Ⅲ		3後	1				1			
保育実習Ⅰ(保育所)		2後	2			2				
保育実習Ⅰ(施設)		2後	2				1			
保育実習Ⅱ		3後	2			2				
保育実習Ⅲ		3後	2				1			
保育実践演習		4後	2		1	3	1			

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	仏教の人間観Ⅰ	1前	2									1
	仏教の人間観Ⅱ	1後	2									1
	仏教学概説	2・3・4後		2								1
	シチズンシップ	1・2・3・4後		2								2
	日本文化の理解	2・3・4後		2								3
	京都光華の学び	1前	2			1	1	1				13
	英語S1	1前	2			1						2
	英語S2	1後	2			1						2
	英語S3	2・3・4前		2		1						1
	英語S4	2・3・4後		2		1						1
	ICT演習Ⅰ	1前	1									2
	ICT演習Ⅱ	1後	1									2
	日本語コミュニケーションⅠ	1前	1					1				2
	日本語コミュニケーションⅡ	2後	1					1				2
	健康の科学	1・2・3・4前		2								1
	スポーツ実技Ⅰ	1前		1		1	1					1
	スポーツ実技Ⅱ	1後		1		1	1					1
	キャリアデザイン講座Ⅰ	1・2・3・4後		1								1
	キャリアデザイン講座Ⅱ	2・3・4前		1								1
	キャリアデザイン講座Ⅲ	2・3・4後		1								1
	インターンシップ	2・3・4前		2								1
	文学	1・2・3・4後		2								1
	歴史	1・2・3・4前		2								1
	京都学	1・1・3・4後		2								3
	ことばと文化	1・1・3・4前		2								1
	サブカルチャー論	1・2・3・4前		2								1
	映画と演劇	1・2・3・4前		2								1
	現代社会と法	1・1・3・4前		2								1
	日本国憲法	2・3・4前	2									1
	経済学	1・2・3・4後		2								1
	社会学	1・2・3・4後		2								1
	心理学	1・2・3・4前		2								1
	哲学と人生	1・2・3・4後		2								1
	地域環境学	1・2・3・4後		2								1
	環境学	1・2・3・4前		2								1
	食品と栄養	1・2・3・4前		2								1
	社会と科学	1・2・3・4後		2								1
	生命の科学	1・1・3・4後		2								1
	中国語	1・1・3・4前		1								2
	ハングル	1・1・3・4前		1								1
	国際理解	1・2・3・4後		2								1
	欧米諸事情	1・1・3・4前		2								1
	アジア諸事情	1・2・3・4後		2								1
	生活と物理・化学	1・2・3・4前		2								1
	日本語FⅠ	1前		1								1
	日本語FⅡ	1後		1								1
	日本語SⅠ	2前		1								1
	日本語SⅡ	2後		1								1
	日本事情Ⅰ	1前		1								1
	日本事情Ⅱ	1後		1								1
	こども教育概論	1前	2			1	1	2				
	基礎ゼミⅠ	1前	1			4	6	4				
	基礎ゼミⅡ	1後	1			4	6	4				
	こども教育基礎演習A	2前	1			2	2	1				
	こども教育基礎演習B	2後		1		1	3	1				
	教職論	1前		2		1						
	保育者論	1前		2			1					
	教育原理	1後		2		1						
	教育心理学	2前		2		1						
	発達心理学	1前		2				1				1
	人権教育	3後		2		1						
	仏教教育論	4前	2			1						1
	教育の制度・運営	3前	2			1						

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
		修	択	由	授	授	師	教	手		
保育内容総論	1前		2		1						
保育方法論	3前		2			1					
保育課程論	1後		2		1						
国語(書写を含む)	1後	2					1				
社会	1前		2			1					
算数	1前	2				1					
理科	1後		2		1						
生活	2前	2			1	1					
音楽Ⅰ	1前	1					1			1	
音楽Ⅱ	1後	1					1			11	
音楽Ⅲ	2前	1					1			11	
音楽Ⅳ	2後	1					1			13	
図画工作Ⅰ	2前	1				1				1	
家庭	2前		2								1
体育Ⅰ	2前	1			1	1					
保育相談支援	2後		2				1				
保育内容研究	4前		2		1	1					
児童心理学	1後		2				1				
体育Ⅱ(幼児)	2後		1		1						
保育内容Ⅰ(健康)	1後		2		1						
保育内容Ⅱ(人間関係)	1後		2		1					1	
保育内容Ⅲ(言葉)	2前		2		1					1	
保育内容Ⅳ(環境)	2前		2		1						
保育内容Ⅴ(総合表現Ⅰ)	2後		1		1	1					
保育内容Ⅴ(総合表現Ⅱ)	2後		1		1		1				
保育内容Ⅴ(総合表現Ⅲ)	4後		1		2	2					
音楽Ⅴ	3前		1				1			9	
音楽Ⅵ	4前		1				1			4	
音楽Ⅶ	4後		1				1			4	
レクリエーション指導法	4前		1		1						
保育原理	1前		2			1					
児童家庭福祉	1後		2				1				
社会福祉	1前		2							1	
相談援助	2前		1				1				
社会的養護	2後		2							1	
子どもの保健ⅠA	2前		2							1	
子どもの保健ⅠB	2後		2							1	
子どもの保健Ⅱ	3前		1							1	
子どもの食と栄養	2後		2							1	
家庭支援論	3前		2							1	
乳児保育	1後		2			1					
障害児保育	2前		2			1					
社会的養護内容	3前		1							1	
道徳	3後		2		1						
第二言語習得論	3前		1		1						
英語の発音	3後		1		1						
幼児英語指導演習	4前		1		1						
道徳教育の理論と指導法(初等)	3前		2		1						
特別活動指導論(初等)	2後		2		1						
生徒指導論(初等)	3前		2			1					
教育方法論(初等)	2後		2			1					
教育課程論(初等)	2後		2		1						
教育相談(初等)	2後		2				1				
国語科指導法	2前		2				1				
社会科指導法	2前		2			1					
算数科指導法	2前		2			1					
理科指導法	2後		2		1						
生活科指導法	2後		2		1	1					

基礎・
教養科目

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
		修	択	由	授	授	師	教	手		
音楽科指導法	3前		2								1
図工科指導法	3前		2		1						1
家庭科指導法	3前		2								1
体育科指導法	3前		2			1					
算数演習	3前		1			1					
理科演習(実験)	3後		1		1						
図画工作Ⅱ	3前		1			1					1
体育Ⅱ(児童)	2後		1			1					
英語教材研究	3後		1		1						
小学校英語指導演習	4前		1		1						
総合的な学習の指導法	4前		2			1					
プレゼミⅠ	2前		1		4	6	4				
プレゼミⅡ	2後		1		4	6	4				
専門ゼミⅠ	3前		1		6	6	4				
専門ゼミⅡ	3後		1		6	6	4				
卒論・卒研ゼミⅠ	4前	1			6	6	4				
卒論・卒研ゼミⅡ	4後	1			6	6	4				
卒業論文	4通		4		4	3	2				
卒業研究	4通		2		2	3	2				
教育実習事前・事後指導(幼稚園)	3前		1		2		1				1
教育実習事前・事後指導(小学校)	3前		1		2	3	1				
幼稚園教育実習Ⅰ(観察実習)	2前		1		2		1				1
幼稚園教育実習Ⅱ(実践実習)	3前		3		2		1				1
小学校教育実習Ⅰ	3前		2		2	3	1				
小学校教育実習Ⅱ	3前		2		2	3	1				
教職実践演習(幼・小)	4後		2		3	3	1				1
保育実習指導Ⅰ	2後		2			2	1				
保育実習指導Ⅱ	3後		1			2					
保育実習指導Ⅲ	3後		1				1				
保育実習Ⅰ(保育所)	2後		2			2					
保育実習Ⅰ(施設)	2後		2				1				
保育実習Ⅱ	3後		2			2					
保育実習Ⅲ	3後		2				1				
保育実践演習	4後		2		1	3	1				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・教育効果向上の理由により、「コラボレーションワーク入門」の兼任・兼任を「2」から「11」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅠ」の兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「スポーツ実技Ⅰ」の兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「スポーツ実技Ⅱ」の兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・時間割編成による開講期間・担当者変更の理由により、「現代社会と法」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「日本国憲法」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・時間割編成による開講期間の理由により、「生命の科学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・教育効果向上および開講期間変更の理由により、「中国語」の兼任・兼任を「1」から「2」に、「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・時間割編成による開講期間の理由により、「国際理解」の開講期間を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・時間割編成による開講期間の理由により、「欧米諸事情」の開講期間を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「発達心理学」の兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「国語(書写を含む)」の兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「算数」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「音楽Ⅱ」の兼任・兼任を「5」から「10」に変更。

【平成28年度】

- ・教育効果向上の理由により、「日本文化の理解」の配当年次を「1・2・3・4後」から「2・3・4後」に変更。
- ・建学の理念の教育強化の理由により、授業科目の名称を「コラボレーションワーク入門」を「京都光華の学び」に科目名を変更すると共に、選択科目から必修科目へ変更。
- ・教育効果向上の理由により、「京都光華の学び」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼任を「11」から「17」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「英語S1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任を「2」から「4」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「英語S2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任を「2」から「4」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅠ」の配当年次を「1前」から「2前」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅡ」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。
- ・教育力向上の理由により、「心理学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・担当者職位変更の理由により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者職位変更の理由により、「算数」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「音楽Ⅲ」の兼任・兼任を「5」から「8」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「音楽Ⅳ」の兼任・兼任を「5」から「9」に変更。
- ・教育力向上の理由により、「保育内容Ⅲ(言葉)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。

【平成29年度】

- ・時間割編成による開講期間・担当者変更の理由により、「仏教学概説」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「シチズンシップ」の兼任・兼任を「3」から「2」に変更。
- ・基礎教養科目の全学的見直し、教育効果向上の理由により、「日本文化の理解」の単位を「必修」から「選択」へ、の兼任・兼任を「1」から「3」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「京都光華の学び」の兼任・兼任を「17」から「13」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「英語S3」の兼任・兼任を「2」から「1」に、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「英語S4」の兼任・兼任を「2」から「1」に、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅠ」の兼任・兼任を「3」から「2」に、専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼任を「3」から「2」に、専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育力向上の理由により、「京都学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に、兼任・兼任を「1」から「3」に変更。
- ・時間割編成による開講期間変更の理由により、「ことばと文化」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・時間割編成による開講期間・担当者変更の理由により、「現代社会と法」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・時間割編成による開講期間の理由により、「食品と栄養」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「ハンブル」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「音楽Ⅱ」の兼任・兼任を「10」から「11」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「音楽Ⅲ」の兼任・兼任を「8」から「11」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「音楽Ⅳ」の兼任・兼任を「9」から「13」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「図画工作Ⅰ」の兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「保育内容Ⅱ(人間関係)」の兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「音楽Ⅴ」の兼任・兼任を「5」から「9」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「音楽科指導法」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任を「0」から「1」に、変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「図工科指導法」の兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・時間割編成による担当者変更の理由により、「図画工作Ⅱ」の兼任・兼任を「0」から「1」に変更。

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割編成による担当者変更の理由により、「京都光華の学び」の兼任・兼担を「13」から「5」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅠ」の兼任・兼担を「2」から「4」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「日本語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼担を「2」から「4」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「文学」の兼任・兼担を「1」から「3」に変更。 ・ 教育力向上の理由により、「京都学」の兼任・兼担を「3」から「4」に変更。 ・ 時間割編成による開講期間変更の理由により、「ことばと文化」の配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4後」に変更。 ・ 教育力向上の理由により、「哲学と人生」の兼任・兼担を「1」から「2」に変更。 ・ 教育力向上の理由により、「中国語」の兼任・兼担を「2」から「3」に変更。 ・ 教育力向上の理由により、「ハンゲル」の兼任・兼担を「1」から「2」に変更。 ・ 時間割編成による担当者変更の理由により、「仏教教育論」の兼任・兼担を「1」から「0」に変更。 ・ 担当者退職による担当者変更の理由により、「保育内容総論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・ 担当者退職による担当者変更の理由により、「保育課程論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「音楽Ⅲ」の兼任・兼担を「11」から「12」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「音楽Ⅳ」の兼任・兼担を「13」から「14」に変更。 ・ 時間割編成による担当者変更の理由により、「図画工作Ⅰ」の専任教員等の配置を兼任・兼担を「1」から「0」に変更。 ・ 担当者退職による担当者変更の理由により、「保育内容研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。 ・ 時間割編成による担当者変更の理由により、「保育内容Ⅱ(人間関係)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に、兼任・兼担を「1」から「0」に変更に変更。 ・ 担当者退職による担当者変更の理由により、「保育内容Ⅲ(言葉)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担を「0」から「1」に変更。 ・ 時間割編成による担当者変更の理由により、「保育内容Ⅳ(環境)」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。 ・ 担当者退職による担当者変更の理由により、「保育内容Ⅴ(総合表現Ⅱ)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・ 時間割編成による担当者変更の理由により、「保育内容Ⅴ(総合表現Ⅲ)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「音楽Ⅵ」の兼任・兼担を「4」から「7」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「音楽Ⅶ」の兼任・兼担を「4」から「9」に変更。 ・ 教育効果向上の理由により、「生徒指導論(初等)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」に変更。
--

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	125 科目	0 科目	155 科目	30 科目 []	125 科目 []	0 科目 []	155 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{155} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	京都光華女子大学大学院及び京都光華女子大学短期大学部と共用		
	校舎敷地	0.00 m ²	8,942.50 m ²	0.00 m ²	8,942.50 m ²			
	運動場用地	0.00 m ²	28,468.61 m ²	0.00 m ²	28,468.61 m ²			
	小 計	0.00 m ²	37,411.11 m ²	0.00 m ²	37,411.11 m ²			
	そ の 他	0.00 m ²	13,469.88 m ²	0.00 m ²	13,469.88 m ²			
合 計	0.00 m ²	50,880.99 m ²	0.00 m ²	50,880.99 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎改修及び大短全体に改修(28)			
	2,813.25 m ² (9,946.94 m ²) (10,017.54 m ²) (2,861.34 m ²) (2,813.25 m ²)	24,052.57 m ² (24,360.39 m ²) (24,331.09 m ²) (24,052.57 m ²)	8,159.46 m ² (717.95 m ²) (676.65 m ²) (8,111.37 m ²) (8,159.46 m ²)	35,025.28 m ² (35,025.28 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 校舎改修(28) 校舎改修(29)		
	50 47 室	47 9 室	33 35 38 室	5 室 (補助職員 ー 人)	0 室 (補助職員 ー 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成28年4月 専任教員を新規採用のため(28)		
	こども教育学部 こども教育学科		16 15 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共有区分 図書 235,100 [32,261] 232,712 [32,202] 学術雑誌 5,086 [409] 5,101 [408] 電子ジャーナル 5 [2] 視聴覚 4,562 4,402
		こども教育学部 こども教育学科	7,389 [312] (8,122 [350]) (7,745 [313]) (7,389 [312]) (6,701 [312])	23 [0] (44 [0]) (21 [0])	3 [0] (3 [0]) (2 [0])	244 (250) (246) (256) (224)	1,026 (808) (735) (1,026)	
	計	7,309 [312] (8,122 [350]) (7,745 [313]) (7,389 [312]) (6,701 [312])	23 [0] (44 [0]) (21 [0])	3 [0] (3 [0]) (2 [0])	244 (250) (246) (256) (224)	1,026 (808) (735) (1,026)	— (—)	
	こども教育学部 こども教育学科	7,389 [312] (8,122 [350]) (7,745 [313]) (7,389 [312]) (6,701 [312])	23 [0] (44 [0]) (21 [0])	3 [0] (3 [0]) (2 [0])	244 (250) (246) (256) (224)	1,026 (808) (735) (1,026)	— (—)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 座席減(27・28)	
	3,078m ²	2,968.79 m ²	259席	272席 280席	326,139冊	282,888冊		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大短全体	
	1,164.99 m ²		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	400千円	350千円	図書購入費	3,894千円	3,000千円	3,000千円
		共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	6,295千円	6,000千円	6,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,364千円	1,124千円	1,124千円	1,124千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称		京都光華女子大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
こども教育学部 こども教育学科	4	80	—	320	学士(こども教育学)	0.97	平成27年度	京都府京都市右京区西京極葛野町38番地	平成26年4月より学生募集停止	
キャリア形成学部 キャリア形成学科	4	80	—	320	学士(教養)	0.78	平成22年度	同上		
健康科学部 健康栄養学科 管理栄養士専攻	4	120	34	488	学士(栄養学)	1.07	平成22年度	同上		
健康スポーツ栄養専攻	4	80	—	320	学士(栄養学)	1.09	平成22年度	同上		
健康スポーツ栄養専攻	4	40	34	168	学士(栄養学)	1.04	平成22年度	同上		
看護学科	4	85	—	340	学士(看護学)	1.14	平成23年度	同上		
心理学科	4	50	—	290	学士(心理学)	0.52	平成26年度	同上		
医療福祉学部 管理栄養士専攻	4	80	—	320	学士(医療福祉学)	0.67	平成26年度	同上		
管理栄養士専攻	4	40	—	160	学士(医療福祉学)	0.44	平成22年度	同上		
健康スポーツ栄養専攻	4	40	—	160	学士(医療福祉学)	0.90	平成22年度	同上		
人文学部 文学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成22年度	同上		
心理学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	平成22年度	同上		
助産学専攻科	1	5	—	5	学士(教養)	0.80	平成30年度	同上		
大学の名称		京都光華女子大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
心理学研究科 臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士(心理学)	0.45	平成16年度	京都府京都市右京区西京極葛野町38番地		
看護学研究科 看護学専攻	2	5	—	10	修士(看護学)	0.80	平成27年度	同上		
大学の名称		京都光華女子大学短期大学部							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
デザイン学科	2	100	—	200	短期大学士(デザイン学)	1.16	平成18年度	京都府京都市右京区西京極葛野町38番地		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	・「理科」について、 教科指導法の内容と なっていることから改 めること。	留意事項 科目内容を教科科目として 適切な内容に変更して、平 成26年12月のAC教員審査に 専任教員を申請し「可」の 判定を受けた。	履行済
設 置 時 (27年4月)	・英語に関する演習科 目を履修する前に第二 言語習得理論を学ぶ必 要があるが、開設予定 の「第二言語習得演 習」については、理論 を学ぶ内容になってい ないことから適切に改 めること。	留意事項 科目内容を英語に関する演 習科目を履修する前に理論 を学ぶ講義科目として適切 な内容に変更して、平成26 年12月のAC教員審査に専任 教員を申請し「可」の判定 を受けた。	履行済
設 置 時 (27年4月)	・教員の補充を必要と された5授業科目につ いては、科目開講まで に教員を充足すること。 うち、専任教員の 配置を必要とされた3 授業科目については、 確実に専任教員を配置 すること。	留意事項 専任教員の補充を必要とさ れた3授業科目の内2授業 科目については、上記1.2. の通り配置対応済。残る1 授業科目については科目開 講までに対応予定。兼任可 の2授業科目の内1授業科 目については、兼任教員で 対応済で教職課程審査で 「可」の判定を受けた。残 る1授業科目については科 目開講までに対応予定。	履行済

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の
寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等
について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を**
全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入して
ください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<こども教育学部 こども教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	①28年度 ・教育効果をより高めるため、基礎教養科目に「京都光華の学び」を追加。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月1回定例開催（8月を除く）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔FD委員会〕</p> <p>(1) 大学運営会議から指示の事項 (2) 教育内容・方法に関する事項 (3) FD研修の企画・実施に関する事項 (4) FDの関係機関との交流に関する事項 (5) その他委員会が必要と認めた事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>・授業アンケート（年2回実施） ・授業方法改善・強化についての学科研究会（後期） ・教員相互の授業参観（前期）</p> <p>b 実施方法</p>

〔授業アンケート〕

- ・全ての科目について、Web上で学生個人に回答をしてもらう。回答締め切り後は、集計し教員個人にフィードバック。学科内での共有化をはかったうえ、学生にもWeb上で教員の回答をリフレクションペーパーとしてフィードバック。

〔授業方法改善・強化についての研究会〕

- ・教員は必ず1度は外部の研修会に出席する。また、学内においては、FD研修会において、アクティブラーニングによる授業改善等の事例紹介、学習行動調査結果の報告等を行い、これらのについてのワークショップを行うことで理解を深めた。

〔教員相互の授業参観〕

- ・全教員を対象に、教員評価の高い教員の当該授業を公開し、ピアレビューを行い、学科内で共有化をはかる。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

〔授業アンケート〕

- ・前後期実施しているが、昨年度より回答率が減少している（前期65.2%・後期42.4%）、回収率向上の施策を講じる。

〔授業方法改善・強化についての研究会〕

- ・教員の外部研修会の参加のノルマは達成している。学内のFD講演会・FDフォーラムの参加率は63.6%であり、昨年度を下回った。学修時間の実態や学修行動の把握に努めた結果、授業の予習・復習を促す授業のあり方をさらに検討することになった。

〔教員相互の授業参観〕

- ・当該授業の公開期間が短いこともあり、多くの教員が参加するには至っておらず、今後の課題と考える。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

〔授業アンケート〕

- ・授業アンケート結果について、教員個人へのフィードバックした内容を学科内で検討・共有することで、授業改善に向けた対策としている。授業科目単位にリフレクションペーパーを作成して学生にフィードバックしている。

〔授業方法改善・強化についての研究会〕

- ・学科FDとして、討議してさらなる共有化をはかっている。教員は他教員の工夫等聞く機会がなかったため、個人が考えられる範囲の工夫をしているケースが多いが、FD研修会等に積極的に参加し、新しい教育方法等を導入する必要がある。

〔教員相互の授業参観〕

- ・授業参観に参加した教員は参考になったこと等を担当教員にフィードバックしている。また、FD委員会で取りまとめて学科で共有化している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記の通り。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

こども教育学部こども教育学科では、4年間の充実した学士課程カリキュラムの中で、幅広い教養、こどもの特性とその保育・教育に関する深い専門知識ならびに高度な保育・教育技術力を持った教員・保育士の養成に努めるのは当然であるが、そうした知識や技術を真に活かすことのできる基盤として、本学建学の精神に基づく仏教教育の理解・体得にさらに力を入れ、思いやりの心、すべての人との縁を大切に作る心、幼き者を慈しむ心をより一層豊かに持った教員・保育士を育てることに努める。こうした心に満ちた教員・保育士であって初めて、保護者との間により相互理解と信頼・協力の関係を築き、地域社会や他の教育関係諸機関と実りある連携を取り結び、教育現場が直面する諸問題に対しより有効な対処が可能となる。なお、こども教育学科では、グローバル人材の養成や小学校における英語の早期教科化・必修化への対応とともに、校園間の指導方法の違いを理解し、小1プロブレムだけではなく中1ギャップにも対応でき、こどもの発達段階に応じた教育を行うことのできる人材養成をさらに進めるべく、平成27年4月に入学した学生、及び次年度以降に入学する学生についての教育に取り組んでいきたいと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年3月31日 公表（大学全体）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・大学全体として、平成27年度に「適合」の評価を受けた認証評価の中間報告を平成31年7月に大学基準協会へ提出予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年6月1日 ）

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。